

品番 AUG364015・364016・364017
WUG464160・464161・464162

NU02-6 HR

保存用



- ご使用前にこの取扱説明書をよくご覧の上、正しくご使用ください。
- 器具の取付工事は、必ず工事店・電器店(有資格者)に依頼してください。
一般の方の電気工事は、法律で禁止されています。
- ご使用後廃棄される場合は、清掃回収者への安全面に十分配慮して処理してください。
- 工事店様・電器店様へ…工事終了後、この取扱説明書はお客様に必ずお渡しください。

■取付前に必ず確認してください

⚠ 警 告

- 異常な振動や衝撃、腐食性ガスや可燃性ガス、粉じんの影響の受ける場所では使用できません。
→火災・感電・落下・錆びの原因になります。
- サウナ風呂等の高温場所では使用できません。
→火災・焼損・やけどの原因になります。
- 指定のランプ以外は使用しないでください。
→焼損・過熱・変色の原因になります。
- 器具やランプを布や紙等でおおって使用しないでください。
→火災・焼損・過熱・故障・変形の原因になります。
- 器具を改造したり、部品を追加・変更して使用しないでください。
→感電・落下・焼損・過熱・変色の原因になります。
- ラジップ外管が割れた場合は絶対に点灯しないでください。
→感電の原因になります。
- 電源の接続は取扱説明書に従って確実に行なってください。
→接続が不完全な場合、故障の原因になります。
- 器具の取付けは器具重量に耐える場所に取扱説明書に従って確実に行なってください。
→取付けに不備があると落下・けがの原因になります。
- アース端子(線)が付いている器具は必ず電気設備の技術基準に従って、接地(アース)工事を行なってください。
→接地工事が不完全な場合、感電・絶縁不良の原因になります。

⚠ 注 意

- 寒暖の差の激しい場所では使用しないでください。
→感電・絶縁不良・ランプ破損・器具内部の結露の原因になります。
- 点灯中及び消灯直後は器具やランプが高温になっていますので素手で触らないでください。
→やけどの原因になります。
- 器具の定格電圧と電源電圧を必ず確認してください。
→間違って器具に過電圧を加えた場合、ランプや安定器等の短寿命及び火災・過熱の原因になります。
- この器具は周波数が50Hz用と60Hz用の区別があります。必ず取付ける地域の周波数と器具の周波数があつて確認してください。
→間違って使用しますとランプや安定器等の短寿命及び火災・過熱・故障の原因になります。

- 器具に注意シールが貼り付けされている場合はその指示に従ってください。
→守っていただかないと火災・感電・落下・けが・故障の原因になります。
- ケーブル線は人の通る場所では露出しないように処理してください。
→ケーブル線を引っ掛け、絶縁不良・けが・ケーブル線の損傷の原因になります。

この取扱説明書のマークについて SAFETY INFORMATION

警告	説明書中の「警告」は人身事故の原因になる危険を示します。
WARNING	A WARNING IN THE MANUAL DENOTES A HAZARD THAT CAN CAUSE INJURY OR DEATH.
注意	説明書中の「注意」は器具破損の原因になる危険を示します。
CAUTION	A CAUTION IN THE MANUAL DENOTES A HAZARD THAT CAN DAMAGE EQUIPMENT.



このマークについている説明文
は必ず守ってください。
KEEP THE NOTICE WITH THIS
MARK.



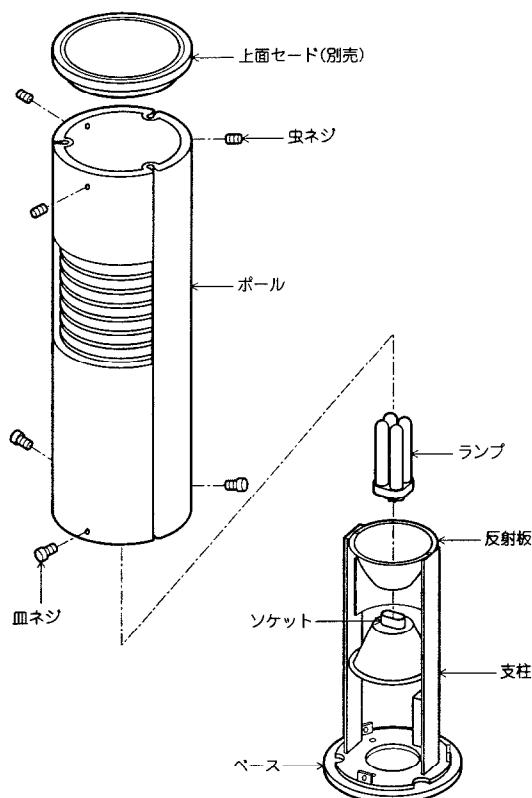
このマークについている説明文
は特に注意してください。
BE CAREFUL THE NOTICE WITH
THIS MARK.

裏面も必ずお読みください。

このたびはコイズミ照明器具をお買上いただきましてまことにありがとうございます。

■各部の名称 (この図は一部抽象化した共通部品図です。)

△部品の有無・損傷を確認し、不備の際は取付けないでください。



品番 AUG364015・364016・364017
WUG464160・464161・464162

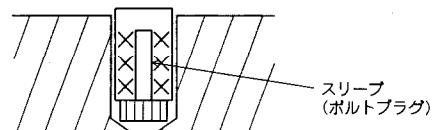
■取付けの際に特に守ってください

△電気工事

○素人工作は危険です。工事店・電器店へ依頼してください。一般の方の電気工事は法律で禁止されています。

△ポルトプラグの取付け

- ・取付場所に本体を置いて、取付穴4ヶ所に印を付けてください。印の位置にドリルで穴をあけて付属のスリーブ(ポルトプラグ)を打ち込んでください。
※ドリル径11.0mm

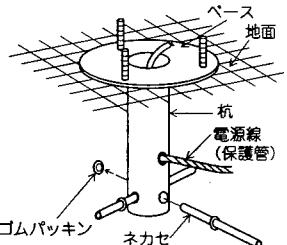


△埋込アダプター(別売)の据置方法 (AE-91289・WEE964105)

①ネカセを杭にセットしてください。

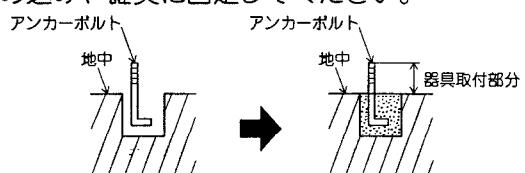
②埋込アダプターのベース一杯まで地中に埋め込んでください。

③地面が柔らかい所ではコンクリート等で確実に固定しゴムパッキンしてください。



△アンカーボルト(市販品)の施工方法

- ・アンカーボルトの器具取付部分以外をコンクリート等に埋め込み、確実に固定してください。

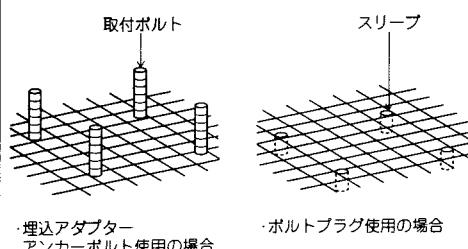


■取付順序と操作方法

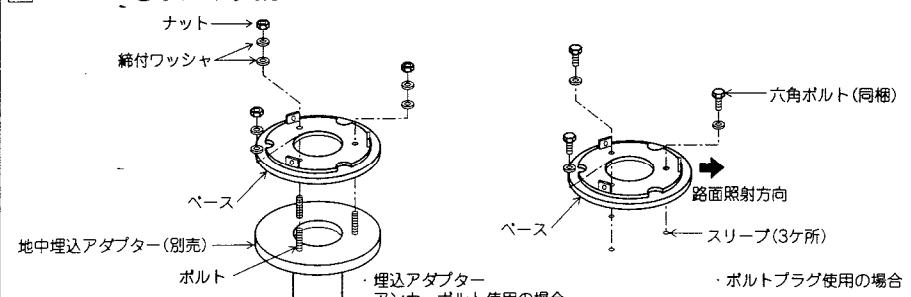
○ぬれた手では絶対に行なわないでください。感電・故障の原因になります。

△必ず取付順序にしたがって取付けてください。取付けに不備があると、落下・けが・過熱の原因になります。

① ポルトプラグ・埋込アダプター・アンカーボルト、それぞれ上記取付方法を参考に、施工してください。

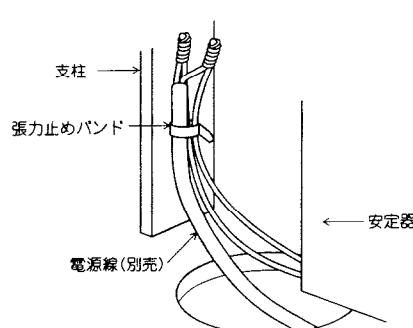
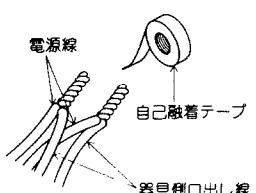


② ベースをボルト又は、ナットで締め付けて固定してください。

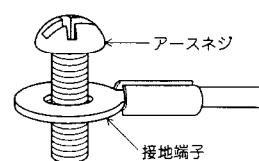


△路面照射方向とベース取付方向に注意してください。

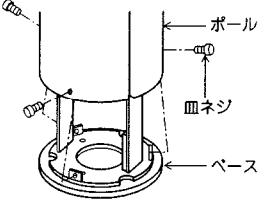
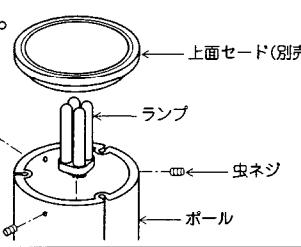
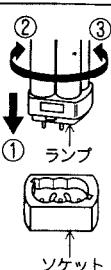
③ 電源線を接続してください。器具の口出し線の接続は自己融着テープ等により確実に絶縁処理を行なってください。



④ 必ずD種(第三種)接地工事を行なってください。



取扱説明書をよくご覧の上、正しくご使用ください。また、不明な点は必ずお問い合わせください。

<p>⑤ 設置したベースにポールを皿ネジ(3ヶ所)でしっかりと締め付けてください。</p>  <p>△路面照射方向に注意して取付けてください。</p>	<p>⑥ ランプは器具の指定球を確認し、ソケットに取付けてください。上面セード(別売)をポールに合わせて虫ネジ(3ヶ所)で締め付けてください。</p> 	<p>ランプの取付け ●取付方法 ①押しながら ②右へ回せば 固定できます。 ●取外方法 ①押しながら ③左へ回せば はずれます。 ※ガラス部分を強くねじらないでください。 △ランプの取付けは丁寧に、確実に行ってください。 破損・落下の原因になります。</p> 
<p>⑦ 電源を入れて、点灯を確かめてください。</p>  <p>△点灯状態がおかしいときはすぐに工事店・電器店に連絡してください。 素人手事は危険です。</p>		

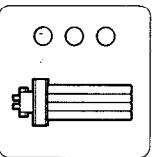
■器具のお手入れ

○ぬれた手では絶対に行なわないでください。感電・故障の原因になります。

△必ず電源を切ってから行なってください。感電・やけどの原因になります。

△点灯中や消灯直後は器具やランプが高温のため危険です。しばらくしてから行なってください。

△安全に使用していただくために、約6ヶ月ごとに清掃・点検を行なってください。

	<p>(1) ランプの交換方法 ① 電源を切ってから行なってください。 ② 上面セードを■取付順序の⑥を参考に取外してください。 ③ ■取付順序の⑥を参考に指定のランプと交換してください。 (指定ランプは器具に表示してあるランプシールをご確認ください。) ④ 上面セードを■取付順序の⑥を参考に取付けてください。</p> <p>ランプシール参考例</p> 
<p>やけどの おそれあり 点灯中や 消灯直後の ランプに さわるな</p>	<p>(2) 上面セードのお掃除 ① 電源を切ってから行なってください。 ② 上面セードを■取付順序の⑥を参考に取外してください。 ③ 乾いた柔らかい布等で上面セードの汚れを拭き取ってください。 ④ 上面セードを■取付順序の⑥を参考に取付けてください。</p>

■器具の寿命について

照明器具には寿命があります。専門家(工事店・電器店)による器具の点検(3~5年に1回)を行なってください。

ランプ(電球)を交換しても暗いと感じたり、器具の汚れが落ちにくくなったり、部品交換による修理が不能となったときは専門家に相談し、不具合がありましたら適切に処置してください。

△ この取扱説明書はいつでもご覧いただけますように大切に保存してください。
ご使用にあたってのご注意(一部仕様の異なる器具があります。) (16)

保存用

◆品番・製造年月は器具銘板に記載されています。光源(ランプ・電球)の種類は器具の光源シールをご確認ください。交換用の光源は器具の指定のものを必ずご使用ください。

◎器具を改造したり、部品を追加・変更して使用しないでください。

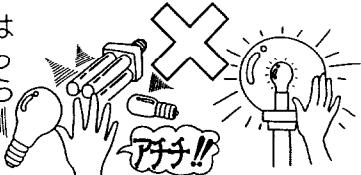


感電・落下・焼損・過熱・変色の原因になります。

◎器具や光源を布や紙等でおおわないでください。
火災・焼損・過熱・故障・変形の原因になります。

◎器具のすきまや放熱穴等に金属類を差し込まないでください。
感電・故障の原因になります。

◎点灯中および消灯直後は器具や光源が高温になっていますので素手で触らないでください。



やけどの原因になります。しばらくしてから取り扱ってください。

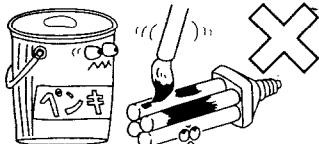
◎器具の下にストーブ等の高温のものを置かないでください。また、燃えやすいものを近づけて使用しないでください。
火災・焼損・過熱・故障・変形の原因になります。

◎シンナー・ベンジン等の揮発性のもので拭いたり、殺虫剤をかけたりしないでください。



変質・故障の原因になります。

◎器具や光源に着色等をしないでください。

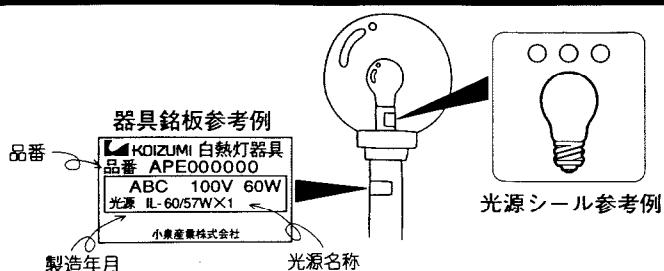


焼損・過熱・故障の原因になります。

◎器具をまるごと水洗いしないでください。
感電・焼損・故障の原因になります。

△お手入れや光源交換の時は必ず電源を切ってから行なってください。

通電のまま行なうと、感電の原因になります。



△器具から煙が出たり、変な臭いがしたときは、速やかに電源を切ってください。
放置しますと火災・落下・けがの原因になります。
工事店・電器店にご相談ください。

△光源交換の際は、必ず器具表示および取扱説明書の指定の種類・ワット数の光源をご使用ください。
間違った場合、火災・やけど・故障・変形・変色の原因になります。

△器具の汚れは乾いた柔らかい布、または中性洗剤を浸透させた柔らかい布をよく絞ってから拭き取ってください。
感電・焼損・故障の原因になります。

△点検・清掃時には、接合部にゆるみおよび器具や光源に損傷等がないかを確認してください。
異常がありましたら、購入店にご相談ください。

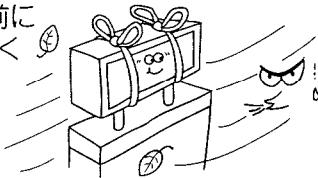
△光源の端部が黒ずんだり暗く感じたら、お早めに光源交換を行なってください。
照度のことを考慮しますと、経済的であるといえます。

△ケーブル線は人の通る場所では露出しないように処理してください。



ケーブル線を引っ掛け、絶縁不良・けが・ケーブル線の損傷の原因になります。

△台風や強風の場合、事前に器具の点検・補強をしてください。



倒壊・落下・けが・破損の原因になります。

△光源が点滅を繰り返す等、正常に点灯しない場合は、直ちに電源を切り光源を交換してください。
放置しますと、焼損・過熱・故障の原因になります。

商品のお問い合わせは………フリーダイヤル 0120-5123-02

99

修理・アフターサービスのお問い合わせは………(電話番号は変更があるので、その節はご容赦願います。)

- 北海道サービスセンター ☎011(813) 4297 ● 神奈川サービスセンター ☎0463(95) 8008 ● 関西サービスセンター ☎0729(85) 5521
- 東北サービスセンター ☎022(236) 4272 ● 中部サービスセンター ☎0568(75) 5931 ● 岡山サービスセンター ☎086(298) 3496
- 関東サービスセンター ☎0489(28) 4381 ● 北陸サービスセンター ☎0762(49) 3205 ● 広島サービスセンター ☎082(249) 1018
- 九州サービスセンター ☎092(622) 4010